区長のメッセージ、写真日誌（活動記録）を
新宿区ホームページ「区長の部屋」でご紹介しています

9月10日まで　絵画と読書感想文を全国から募集

令和３年度新宿区夏目漱石コンクール

新宿区は夏目漱石（1867年～1916年）が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。漱石は、晩年の9年間を早稲田南町の「漱石山房」と呼ばれた家で過ごし、数々の作品を執筆しました。

「新宿区夏目漱石コンクール」では、小学生を対象に絵画を、中学生・高校生を対象に読書感想文を、全国から募集しています。皆さんの考える漱石の世界を表現してみませんか。

【問合せ】文化観光課文化資源係（第1分庁舎6階）☎（5273）4126・FAX（3209）1500へ。

小学生対象絵画コンクール
どんな夢を見た？あなたの「夢十夜」

「こんな夢を見た」「こんな夢を見たい」をテーマに、眠っている間の夢について自由に描いてください。

【作品の規定】八つ切りサイズ（27㎝×38㎝）の画用紙に、鉛筆・色鉛筆・クレヨン・絵の具・マジック・サインペン等で描いてください。縦横は自由です（立体的でない貼り絵、切り絵、版画も可。デジタル作品と額装は不可）。

中学生・高校生対象読書感想文コンクール
わたしの漱石、わたしの一行

作品を読んで、自分の心に深く残った「一行」を選び、なぜその一行を選んだのか表現してください。

【作品の規定】縦書きの400字詰め原稿用紙2枚半～3枚（1,000字～1,200字）に、日本語で書いてください。

小学1～3年生、小学4～6年生、中学生、高校生の各部門から

- 最優秀賞は各1名（計4名）、
- 優秀賞（後援企業賞含む）は各5名（計20名）
- 佳作は各10名程度（計40名程度）

【申込み】所定の応募用紙と作品を、**新宿区夏目漱石コンクール事務局**▶絵画コンクールは**「どんな夢を見た？あなたの「夢十夜」」係**、▶読書感想文コンクールは**「わたしの漱石、わたしの一行」係**（いずれも〒100-8502千代田区内幸町2―1―4）☎（6910）2419へ、9月10日（必着）までに郵送してください。文化観光課・特別出張所等で配布する案内チラシの裏面が応募用紙になっています。新宿区ホームページ（上図二次元コード）からも取り出せます。

【表彰】12月18日㈯に表彰式を行います。入賞者には11月上旬以降にお知らせし、副賞の図書カード（予定）を贈呈します。また、応募者全員に参加賞を差し上げます。

※入賞作品は入賞作品集に掲載し入賞者に配布するほか、新宿区ホームページに掲載します。また、漱石山房記念館での展示も予定しています。

※入賞者の氏名・学校名・学年等は公表します。

夏目漱石記念施設整備基金にご支援を

「夏目漱石記念施設整備基金」により寄付を募集しています。6月22日時点で、約1億3300万円（2,617件）の寄付が寄せられています。ご支援・ご協力をお願いします。

●寄付の方法

【ゆうちょ銀行（郵便局）での寄付】

①文化観光課・特別出張所・区立図書館等で配布しているパンフレットにはさみ込んである払込取扱票を利用（手数料は不要）

②ゆうちょ銀行（郵便局）に設置されている払込取扱票を利用（手数料は寄付者負担）

口座記号番号／00180－7－0291301
新宿区夏目漱石記念施設整備基金

【ゆうちょ銀行以外の金融機関での寄付】

③ゆうちょ銀行以外の金融機関のATM（現金自動預払機）を利用（手数料は寄付者負担）

口座番号／ゆうちょ銀行〇一九支店（当座預金）0291301
新宿区夏目漱石記念施設整備基金

【インターネットでの寄付】

④ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」を利用

※詳しくは「ふるさとチョイス」サイト（HPhttps://www.furusato-tax.jp/city/product/13104）をご確認ください。

※②③を利用する方には「寄付申出書」をお送りします。文化観光課文化資源係へご連絡ください。また、①～④以外の方法で寄付を希望する方は、お問い合わせください。

●寄付を漱石山房記念館の資料の充実に活用しています

以下は寄付を活用して収集した資料の一部です。区は、今後も資料の充実に努めていきます。

明治29年春、松山での作。松山時代の漱石の庵「愚陀佛」の号があります。

▲夏目漱石俳句幅「春の海に橋をかけたり五大堂」

漱石が所有した硯のうちの一点。漱石遺愛の品

▲夏目漱石旧蔵硯

「キッズ伝統芸能体験」参加者募集中！

“本物体験”を通じて、子どもと伝統芸能のこれまでにない出会いをつくる

◀▲▶撮影：武藤奈緒美
昨年度の稽古の様子

※感染対策を十分に講じて実施します。

プロの実演家から直接指導を受け、本格的な舞台での発表を目指します。13コース24クラスで実施します。

①スタンダードプログラム

年齢層に合わせてきめ細かい稽古が受けられます。

【稽古期間】10月～令和4年3月（稽古16回とリハーサル・発表会）

【対象・定員】小学生～高校生（各コースとも1クラス4～10名程度）

【コース】▶能楽…謡・仕舞／狂言、▶長唄…三味線／囃子（篠笛）／囃子（小鼓）、▶三曲…箏曲／尺八、▶日本舞踊

②ユースプログラム

短い期間で深い理解を目指す中高生向けの特別カリキュラムです。

【稽古期間】12月～令和4年3月（稽古10回とリハーサル・発表会）

【対象・定員】中学生・高校生（各コースとも1クラス10名程度）

【コース】▶長唄…三味線、▶三曲…箏曲、▶日本舞踊

＜①②共通＞

【稽古会場】新宿文化センター（新宿6―14―1）、芸能花伝舎（西新宿6―12―30）のほか、コースにより中野区・渋谷区・千代田区・羽村市で実施

【発表会会場】▶能楽…宝生能楽堂（文京区本郷1―5―9）、▶長唄・三曲・日本舞踊…国立劇場大劇場（千代田区隼町4―1）、いずれも令和4年3月実施

【費用】各コース15,000円（教材費等。ほかに実費負担あり）

【主催】東京都、東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、日本芸能実演家団体協議会（芸団協）

【後援】新宿区

【申込み】8月16日㈪までに「キッズ伝統芸能体験」事務局ホームページ（上図二次元コード。HPhttps://www.geidankyo.or.jp/kids-dento/）からお申し込みください。ファックスで申し込む場合は所定の申込用紙を**同事務局**☎（5909）3060・FAX（5909）3061へ。申込用紙は文化観光課（第1分庁舎6階）・特別出張所・区立図書館等で配布しています。応募者多数の場合は抽選。

リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。